

古殺駆

データ

データ	
読み	こざく
所属	時隠軍団・ <u>殺駆</u> 一族 <u>殺駆</u> 三兄弟長男
デザイン機体	<u>古殺駆</u> （SD戦国伝 武者七人衆編） <u>ランバ・ラル専用ザク I</u> （ジオン独立戦争記）
作品	武者烈伝・零

内容

時隠軍団の最大勢力、殺駆一族の一人で殺駆三兄弟の長男。自称・時隠一の猛者（笑）武神將軍殺駆頭を殺した者の息子として烈凰武将頑駄無斎の子息、光凰の命を狙うが（この時点では殺駆三兄弟は光凰が女性で雷凰という息子がいる事を知らなかった。）そこに現れた、烈火武者頑駄無により武器を斬られ撤退。光凰一行が悪無覇域夢山に向かった際には砲術隊と迎撃空戦隊を率いて北軍を指揮、悪無覇域夢山の最終決戦では魔物から民を逃す為に活躍した。三身一体の攻撃を得意としており、流派は殺駆一刀流。どこかヌケているが時隠軍団の武将に名を連ねるだけあって腕は中々のもの。

使用武器&支援メカ

■■古月【こげつ】

烈火武者頑駄無に斬られた古殺駆の愛刀。

■■斧【おの】

古殺駆の持つ斧、元ネタはラル専用旧ザクのヒートホーク。

■■バズーカ【ばずーか】

古殺駆の持つバズーカ、元ネタはザクバズーカ、正式名称不明。

■■鉢巻【はちまき】

古殺駆が西瓜烈斬時に使用した赤いハチマキ。

使用忍術&必殺技

■■西瓜烈斬【すいかれつざん】

殺駆三兄弟が烈火武者頑駄無戦で繰り出した必殺奥義、元々は一撃必殺をもって善しとする殺駆一刀流に代々伝説的に語り継がれてきた必殺奥義で「殺駆一族の三人の武者が心眼を用い、一糸乱れぬ連携で強敵を切り伏せた」と言う逸話を持ち、「その凄まじさはあたかも西瓜を斬るが

如きの鋭さ」と言われ、俗に西瓜割殺法として伝わってきた。これまで多くの殺駆一族の武者達が

会得しようと鍛錬を重ねてきたものの中には「心眼＝敵が見えない」事が先に立ち、鉢巻で目を覆う

勘違いも横行した。殺駆三兄弟の「心の目で見ろ」は七人衆編を見た者にとってはいろんな意味

で

期待通り（笑）バックのスイカの瑞々しさもグーである。

備考

武者烈伝・零でついに復活した七人衆編のお笑い担当にして名（迷）脇役の一人。第二話で登場するなり

「俺達はあーだこーだ考えるのに向いてない」と言い切り、（普通、それを自分らでいうかねえ？）

殺驅一刀流に西瓜烈斬と言う流派名に奥義名までついたにも関わらず、相変わらずのボケっぷりに乾杯。

今も昔も変わらずの「心の目で見ろ」オチも予想通りで良い意味で期待を裏切らない連中である。

（笑）

なお、今作では七人衆編の古殺驅にジオン独立戦争記のラル専用旧ザク風のディテールが追加されたが

旧作の古殺驅にも青主体の塗装を施したイラストが存在したので実はそれほど驚かなかった。

デザインは横井画伯の手によるもの。

参考資料

ホビージャパン刊 ホビージャパン04年11月号

ホビージャパン刊 ホビージャパン05年2月号

ホビージャパン刊 ホビージャパン05年3月号

ホビージャパン刊 ホビージャパン05年11月号